

第9回 薬薬連携の会開催報告書

日時：令和5年3月22日（水）19：00～20：00

配信：オンライン（Cisco Webex 配信）

参加者数：計31名

・アイランド薬局小杉店	2名	・日本調剤新武蔵小杉薬局	1名
・アイン薬局日本医大武蔵小杉病院店	7名	・フレンド薬局	1名
・共創未来元住吉薬局	2名	・ミキ薬局武蔵小杉店	2名
・コクミン薬局武蔵小杉店	5名	・薬樹薬局小杉	1名
・サニタ薬局元住吉店	1名	・薬局トモズ関東労災病院前店	7名
・成川薬局元住吉調剤店	1名	・薬局トモズ新丸子店	1名

プログラム

19:00 開催の挨拶（日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 部長：笠原英城）

19:05 「当院における外来化学療法の取り組み」

（日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 外来がん治療認定薬剤師：安島亜矢子）

19:20 質疑応答

19:30 「当院における処方箋疑義照会について」

（日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 主任：田原温）

19:45 質疑応答

19:55 閉会の挨拶（日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 副部長：野口周作）

20:00 終了

講演に関し以下の質問・意見があった。

・治療中に状況がわからないご家族が処方箋だけを持って薬局に取りに行くことがある。その際、お薬手帳も有害事象評価の記録もないため情報収集が難しい。

⇒原則、会計終了後に処方せんを持っていくことになっているため、それを徹底したい。有害事象評価は点滴中に患者さんから聴取した内容になるため、点滴終了までは手帳は患者さんと共にあります。

・嘔吐予防のオランザピン 5mg 1錠が1日1回夕食後と頓服で処方された時の指導方法はどのようにしたらいいですか

⇒オランザピン 5mg 1日1回夕食後は処方された分服用いただき、めまい、ふらつきの副作用に注意し、屯用で1回まで服用可能と説明をお願いいたします。

・抗がん剤に関する疑義照会について、抗がん剤と支持療法どちらが件数多いのでしょうか。

⇒支持療法が多いように感じる。以前、抗がん剤が添付文書の用量を超える処方がされ、そのまま服用してしまった事例があり、添付文書用量を超える場合には必ず疑義照会をお願いしたい。

・日本医科大学武蔵小杉病院に入院し、退院時に処方された薬剤とその後、外来時に処方される薬剤の内容が違うのはどうしてでしょうか？

⇒退院時処方薬は院内処方マスタを使用しており、外来時は院外処方マスタにて区別しているため薬剤が違ってくると考えます。

以上
書記 宮内